

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
地理歴史	地理A	2	3	全科	必修	世界に目を向け、地域に学ぶ 第一学習社

1. 学習の到達目標

現代社会に生きる私たちにとって、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養うことが大切です。地理Aでは、現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けることが目標です。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価の規準	地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立ち諸事象を位置や空間的な広がりの中で理解すると共に、各地域の課題や将来像について考えようとする。	地理的事象から課題を見出し、諸地域を比較し関連づけて追究し、判断する。さらに地球規模の諸課題を国際協力によって解決していくための地理的認識を深めようとする。	地理的な見方や考え方及び地図の読図や作図、景観写真の読み取りなどを通して地理的事象を見だし、考察し、調査結果をまとめ、表現している。	地理的事象から各地域の特性を理解し、作業的、体験的な学習を通して地理的技能を身につけ、それを系統的に使いこなすことができる程度の知識を身につけている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題・宿題・ノートなどの提出物の状況、定期考査、小テストなどを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

スポーツや文化など、毎日のニュースの中で日本人の活躍を耳にすることが多くなりました。様々な国との関わりが不可欠である現代社会において、まず「他の国・地域を知ること」を通して世界の国々に興味を持ち、日本との関係や各国のつながりを学んで貰いたいと思います。

目 標		現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	
月	大項目	中項目	時数
4	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章 地球儀や地図でとらえる現代世界	①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりや地図 ④国家の領域と領土問題 ⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地域世界 ⑦情報・通信で一体化する世界 ⑧人「もの」・資本で結びつく世界	6
5	2章 世界の人々の生活を取りまく地球的環境	①さまざまな環境のなかで暮らす人々 ②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野から見た気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族のさまざまな生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性	6
6	3章 世界の諸地域の生活・文化と環境	①東アジア ②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤仲南アフリカの暮らしを学ぶ ⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ	8
7		⑦ロシアの周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ	4
9		⑨中央南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ	8
10	4章 さまざまな地球的課題	①地域の違いとつながりに注目する ②人口問題 ③食料問題 ④都市・居住問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力	10
11	第2編 生活圏と諸課題の地理的考察 1章 日常生活と結びついた地図	①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう ③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう	10
12	2章 自然環境と防災	①日本の自然と生活 ②自然環境に備えた暮らし	6
1	3章 生活圏と地理的諸課題と地域調査	①地域調査の方法 ②水の恵みのまち「川北町」を考える	8
2			4